

国際化学肥料ニュース (2019年5月)

肥料業界の2019年5月動態

- * 4月23日、インドMMTC社が尿素の国際入札を行った。5月1日開札した結果、最低応札価格がCFR東海岸285.70ドル/トン、CFR西海岸279.74ドル/トンである。4月3日開札された前回の尿素国際入札より23~28ドル/トン高くなっている。情報によれば、今回購入数量74.15万トン、大部分が中東産尿素であるが、一部がイラン産尿素を中国経由して再輸出する噂もある。

- * 中国税関のデータによれば、2019年3月の化学肥料輸出量が24%増の200.1万トン、金額では40.8%増の5.63億ドル。その内訳は尿素33万トン、DAP39万トン、NPK化成肥料13万トン、硫酸加里1.7万トン、塩化加里1万トン。1~3月化学肥料輸出量が45.2%増の552万トン、金額が66.7%増の15.5億ドル
一方、3月の化学肥料輸入量が1%減の99.0万トン、金額3.2億ドル。その内訳は塩化加里82万トン、化成肥料11万トン。

- * 中国税関の速報によれば、2019年4月の化学肥料輸出量が46%増の217.7万トン、金額が63.5%増の6.2億ドル。一方、4月の化学肥料輸入量119万トン、金額3.78億ドル。

- * 5月第2週のりん安市況がやや活発になった。世界全体ではDAPとMAPの貿易量が久しぶりに50万トンを超えたが、価格の下落が続いている。
東半球ではインド側はCFR380ドル/トンでサウジアラビアから15万トン、モロッコから5万トンDAPを購入し、バングラデシュも12日に40~45万トンのDAP国際入札を発表した。4月末現在インドのDAP在庫量が140万トンまで増加し、2016年2月以来の高水準であるため、5月下旬から6月にかけてDAPの購買活動を停止する可能性が高い。
西半球では、ブラジルがCFR385ドル/トンでモロッコとロシアから16万トンMAPを購入した。また、サウジアラビアも南米に5.5万トンMAPを販売した。

- * 中国石油と化学工業連合会の最新データによれば、2019年第1四半期の中国化学肥料生産量(N、P₂O₅、K₂O換算、以下同)が2.4%増の1330.9万トン、その内訳は窒素肥料が2.2%増の857.9万トン、りん酸肥料が3.3%減の329.9万トン、加里肥料が21%増の143万トン。

第1四半期の化学肥料消費量が4.1%減の1294.1万トン、その内訳は窒素肥料が5.3%減の733.3万トン、りん酸肥料が14.6%減の252万トン、加里肥料が11.1%増の308.8万トン。

第1四半期の化学肥料輸出量が47.3%増の537.8万トン（実物量）、金額が68.1%増の15.9億ドル。輸出量が大幅に増加する原因は、2019年から化学肥料の輸出関税を完全に撤廃したことによるものである。

- * 中国窒素肥料工業協会の発表によれば、2018年末現在中国のアンモニア生産能力が前年度より454万トン減少し、6689万トンになり、実生産量も1.4%減の5612万トンである。2018年末現在の尿素生産能力が前年度より322万トン減少し、6954万トンになり、実生産量も2.4%減の5207万トンである。
- * ロシアのUralkali社が中国に対して、国境貿易での塩化加里の価格を6月以降にさらに引き上げると通告した。中国側はそれを拒否し、6月中旬から塩化加里の国境貿易をしばらく中止すると発表した。ロシアが国境貿易の形で中国に毎年250～300万トン塩化加里を輸出している。今回の中止は国境貿易が初めてからのことである。
- * 5月17日パキスタンのTCP社が10万トン尿素の国際入札を行った結果、最低応札価格が5月1日開札されたインドMMTC社の尿素入札より20ドル/トン高くなった。この尿素入札もイラン産尿素を排除した。
- * 5月第3週のリン安市況が不振のままである。東半球ではインド政府のDAP補助金削減とパキスタン通貨安で、リン安輸入に悪影響を及ぼす。唯一の明るいニュースはバングラデシュが40万トンDAPと27.5万トン重過リン酸石灰の国際入札で、中国、サウジアラビアとモロッコメーカーに輸出のチャンスを与えている。一方、イランも7万トンDAPと12万トン重過リン酸石灰の国際入札を発表したが、アメリカからの経済制裁により、応札者が居るか否かが不明である。

西半球ではモロッコのOCP社がCFR385ドル/トンで5万トンMAPをブラジルに、ある貿易商がCFR370ドル/トンで1.6万トンMAPとDAPをアルゼンチンに輸出しただけである。需要不足で、リン安価格がさらに下がる傾向である。
- * インド総選挙が終わり、圧勝したインド人民党政権が2019～2020年度の肥料補助金政策を発表した。DAPに対する補助金が19%（2000ルピー/トン）カットする。インドのNFL社は補助金削減を受け、行っている10万トンDAP入札をキャンセルした。予定としてはCFR375ドル/トンで購入するはずであった。

* インドとパキスタンが立続いて行った尿素入札により、尿素の国際市況が強気で動いている。インドネシアの kaltim 社が 5 月に大粒尿素を FOB280～285 ドル／トンで販売を行った。5 月 23 日にも尿素の販売入札を行い、最高応札価格が Golden Barley 社の FOB286 ドル／トンである。ブラジルでは現在大粒尿素の CFR 価格が 280～286 ドル／トンに維持している。

* 5 月第 4 週のリン安国際価格がさらに下がっている。東半球では DAP の CFR インド価格が 372 ドル／トンまで下がり、中国の FOB 価格も 350 ドル／トン台に向かっている。インドが 9.5 万トン、パキスタンが 4.4 万トン DAP を購入した。また、バングラデシュが 40 万トン、イランが 7 万トン、イラクが 30 万トン DAP の国際入札を発表した。
西半球では、ルーマニアとブルガリアが 10 万トン、マリが 3 万トン DAP、ブラジルも 3 万トン MAP を購入した。

* 塩化加里の国際貿易データ

国	期 間	輸出量 (万トン)	輸入量 (万トン)	増減率
カナダ	2019 年 1～3 月	509		-2%
ベラルーシ	2019 年 1～3 月	281		+3%
チリ	2019 年 1～3 月	6.8		-55%
中国	2019 年 1～3 月		295	+7%
オーストラリア	2019 年 1～3 月		18.4	+5%
アメリカ	2019 年 1～3 月		328	+1%
インド	2019 年 3 月		40.9	-8.5%
フィリピン	2019 年 1～2 月		4.2	+25%
マレーシア	2019 年 1～2 月		29.3	-37%
韓国	2019 年 1～2 月		11.9	+78%
南アフリカ	2019 年 1～2 月		2.8	-13%
トルコ	2019 年 1～2 月		4.1	-40%
インドネシア	2019 年 1 月		40.2	+56%
フランス	2019 年 1 月		7.2	+2%
イギリス	2019 年 1 月		6.9	

* アメリカパデュー大学 (Purdue University) の発表によれば、当該大学の Kingsly Ambrose 准教授が率いる研究グループが 2 層構造になる尿素を開発した。その特徴はまず外層から窒素養分を溶出して、外層が完全に飽和してから初めて内層の窒素養分を放出し、全体として尿素養分の溶出が遅く、緩効性効果を有し、窒素の流失を減らし、肥料利用率を高める効果があるという。その発表は下記の HP で確認できる。

<https://www.purdue.edu/newsroom/releases/2019/Q2/new-nitrogen-fertilizer-texture-may-reduce-nitrate-levels,-make-water-safer.html>

大手各社の営業業績

- * ヨルダンの APC 社が 2019 年第 1 四半期の業績を発表した。塩化加里生産量が 6.4%増の 63.5 万トン、販売量が 8%増の 62.9 万トン、売上高が 17%増の 1 億 8400 万ドル、純利益が 49.8%増の 5430 万ドル。業績が良くなった原因は、塩化加里の販売量増加と輸出価格の上昇である。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * インド FACT 社は天然ガス商社の PLL と契約を締結した。5 月下旬から液化天然ガスを受け入れ、生産能力 29.7 万トン/年のアンモニア合成ラインを再開させる。10 数年前天然ガスの価格高騰で、FACT 社は自社のアンモニア合成ラインを閉鎖し、アンモニアを輸入して尿素生産に供しているが、国の肥料政策の変更と天然ガス価格の下落を受け、自社アンモニア合成を再開する。

その他

- * 中国最大の塩化加里メーカー塩湖株式会社が業績不振で、2017～2018 年の 2 年間だけで総額 76 億人民元（約 11.3 億ドル）の赤字を計上した。2018 年末現在の負債額 562 億人民元（約 83.8 億ドル）、負債率約 75%、上海株式市場から退場される危機に瀕している。

塩湖株式会社は国営企業で、塩化加里生産能力約 500 万トン/年、1997 年に上海株式市場に上場した。業績悪化の原因はむやみに事業の多角化を行い、金属マグネシウム、リチウム、塩ビ、セメントなどに進出した事業が成功できず、本業をおろそかにした。

- * ウクライナ政府は 8 月 1 日からロシアから輸入されるすべての化学肥料に特別輸入関税を徴収すると発表した。その特別輸入関税率が現在の輸入関税にさらに 5%を上乗せるという。
- * 中国の瓮福グループと貴州開磷グループが合併することになった。瓮福グループが中国第 2 位、貴州開磷グループが中国第 3 位のリン酸肥料メーカーで、両社とも国営企業である。その合併により年間生産能力 1000 万トンを超えた中国最大のリン酸肥料メーカーが誕生する。
- * カナダの Nutrien 社はカナダアルバータ州 Redwater にある肥料工場のリン酸一安 (MAP) 生産ラインを完全に停止する。停止理由は輸入リン鉱石コストの高騰で、採

算ができなくなる。その代わりにアメリカにあるリン安工場の稼働率を上げ、その減少分を補うと発表した。